



『日比谷 セントラル ザ ラウンジ』オープン記念トークイベントを12月9日(金)開催
トークイベント「伝統工芸が拓く未来のカタチ」
2023年5月まで様々な伝統工芸品をラウンジ内に展示

三井物産都市開発株式会社(本社：東京都港区、社長：土原 伸)では、日比谷セントラルビル(東京都港区西新橋一丁目2番9号)の3階に本社を移転するに伴い同フロアに誰もが気軽に利用できる『日比谷 セントラル ザ ラウンジ』を併設致します。

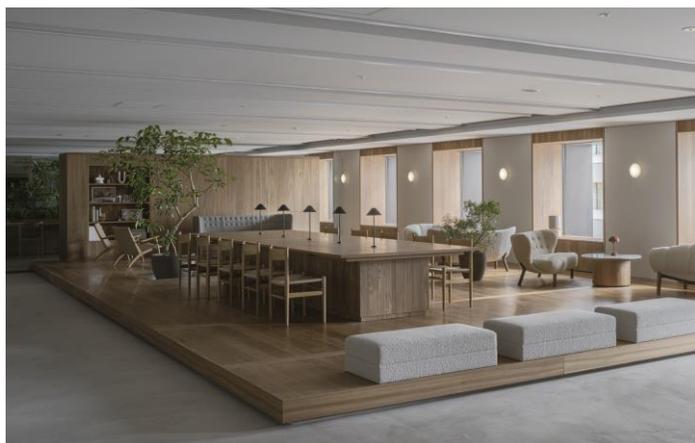
<https://www.hibiya-central.com>

新ラウンジオープンを記念してトークイベント「伝統工芸が拓く未来のカタチ」を2022年12月9日(金)18:00～19:00に開催いたします。なお、今回のトークイベントにあわせて展示される作品は、2023年5月31日(水)までの期間ご覧いただけます。

日比谷セントラル ザ ラウンジテーマ：「未来をひらく」

『日比谷セントラル ザ ラウンジ』は、「未来をひらくラウンジ -未来が変わるきっかけ／小さなヒントが見つかる-」をコンセプトにおき、誰もが自由にギャラリーのようなクリエイティブな空間に身を浸しながら時間を嗜むことができるラウンジとして開放し、ちょっとした打合せやデスクワークを行えるよう空間を設え、電源・Free Wi-Fiの利用が出来ます。誰もが気軽に立ち寄れる場の提供により、様々なコミュニケーションが生まれ「未来がひらかれる」オフィス環境を目指します。

・ラウンジオープン時間：2022年12月9日(金)については9:00～13:00、17:30～19:00
2022年12月12日(月)以降は月～金の9:00～19:00(祝祭日除く)



トークイベント「伝統工芸が拓くみらいのカタチ」概要

- ・開催場所：日比谷セントラルビル3階(東京都港区西新橋1-2-9)日比谷セントラル ザ ラウンジ内
- ・開催日時：2022年12月9日(金)18:00～19:00(開場17:30～)
- ・入場料：無料(ホームページからの事前申し込みが必要 <https://www.hibiya-central.com>)
※人数に限りがございますので早めにお申し込みください。

・内容：

ラグジュアリーホテル等の内装デザイナーとしてグローバルに活躍するDESIGN STUDIO SPIN 小市泰弘氏のキュレーションにより、日本の伝統的な技法を最先端の空間デザインに取り入れた工芸品・アート作品をラウンジ内で展示。トークイベントでは、小市氏と3名の工芸家で「作品づくりにおけるコンセプトとは？作品づくりをする上で大切にしていることは？」といった問いを投げかけ、一からものをうみだすアーティストとしての思考法についてお話いただく予定です。

・登壇者：

DESIGN STUDIO SPIN 小市泰弘代表

輪島キリモト 桐本康一代表

陶芸家 中村 卓夫氏

金属工芸家 藪内公美氏

尚、工芸品は、2023年5月31日(水)まで展示しますのでそれまでの期間ご覧頂けます。

トークイベント登壇者紹介

キュレーター

小市 泰弘 氏 (DESIGN STUDIO SPIN代表)



空間デザイナー株式会社アクスにて空間プロデューサー 松井雅美氏に師事。杉本貴志率いる 株式会社スーパーポットに入社。チーフデザイナーとして活躍。1999年独立、株式会社デザインスタジオ・スピンを設立。主に海外の5つ星、6つ星ホテルのインテリアデザインを行ってきた。2010年頃からは、日本国内のラグジュアリーホテルデザインも多く手掛けるようになる。土地の文化、素材、伝統工芸を大事に取り入れ、クラシックとコンテンポラリー、和と洋、影と光等を微妙なバランスでインテリアデザインに表現し、そこにしかないデザインを創造。

参加作家

桐本 泰一 氏 (木と漆のデザインプロデューサー)



1962 石川県輪島市生まれ
1985 筑波大学芸術専門学群生産デザインコース卒業
1985 コクヨ(株) 意匠設計部意匠設計課入社

輪島朴木地工芸・桐本木工所入社

2001 「石川県デザイン賞」受賞 (石川県デザインセンター)

2005 「いつものうるし」(監修/ラトルズ刊) 出版

2007 能登半島地震復興スペシャルチャリティ企画「ルイ・ヴィトン」の輪島塗六角小箱
「BOITE LAQUEE WAJIMA」の製造・監修を担当

2008 「元気なモノ作り中小企業300社」に選定

2015 先代桐本俊兵衛から業務を引き継ぎ輪島キリモト代表に就任

パリ・ルーブル宮殿・パリ装飾美術館で開催された花見と弁当企画「JAPAN PRESENTATION in Paris」で
「あすなろの重ね箱」を創作

2018 第二回三井ゴールデン匠賞グランプリ受賞 (三井広報委員会)

輪島工房に隣接してデジタル店舗「漆のスタジオ」開設 国内外からのライブコマース、漆器の配信機器完備

その他

筑波大学芸術専門学群、金沢大学人間社会学域、金沢美術工芸大学大学院、武蔵野美術大学演出デザイン学科など 非常勤講師勤務

トークイベント登壇者紹介

中村 卓夫 氏 (陶芸家)



- 1978 父である梅山の元で作陶
 - 1996 「器の現場は住まいにあり」住居・アトリエを建築 (設計 内藤廣)
 - 2006 大地の芸術祭,越後妻有アートトリエンナーレ2006 越後妻有2市町 / 新潟
 - 2012 Designing Nature The Rinpa Aesthetic in Japanese Art / メトロポリタン美術館 / ニューヨーク
 - 2012 個展 JOAN B MIRVISS LTD / ニューヨーク (同2017)
 - 2017 革新の工芸“伝統と前衛”、そして現代 東京国立近代美術館工芸館 / 東京
 - 2018 「ゆらぎの茶室」(指名コンペにて最優秀賞 2019竣工) / フンボルトフォーラム・ベルリン国立アジア美術館 / ベルリン
- ※『工芸建築』Unit — 建築家・工芸作家・建築会社

Collections

- 金沢21世紀美術館 / 金沢
- メトロポリタン美術館 (パーマナントコレクション) / ニューヨーク
- 東京国立近代美術館工芸館 / 東京
- ベルリン国立アジアミュージアム / ベルリン
- シカゴ・アート・インスティテュート / シカゴ 他
- RIVER RETREAT 雅楽倶 / 富山
- MIZUKI, AOKI / Singapore
- リッツカールトン東京 / 東京
- フォーシーズンズホテル東京大手町 / 東京
- ハイアットセントリック金沢、ハイアットハウス金沢 / 金沢

藪内 公美 氏 (金属工芸家)



- 1980 奈良県生まれ
- 2009 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科 博士後期課程美術工芸専攻 博士 (芸術)
- 2012 卯辰山工芸工房 専門員として勤務
- 2013 金沢美術工芸大学 助教
- 2018 北陸先端科学技術大学院大学 特任助教
- 2021 長岡造形大学 助教
- 2004 『現代の「日本の金工」展 -コペンハーゲン展-』 (デンマーク王立工芸博物館/デンマーク)
- 2013 EAST-WEST: the hammered metal object 展 (Waterstone Gallery・Museum of Contemporary Craft/USA)
- 2014 個展「藪内公美 展」(麻布十番ギャラリー/東京)
- 2016 方法の発露2016—地域性と個人性 (しいのき迎賓館ギャラリー/金沢市)
- 2017 第3回薪技芸展 (中国 上海)
- 2017 Expression of Female Embodiment展 (PEARL GALLERY/アメリカ ポートランド)
- 2018 学びの杜ののいちカレード企画展『藪内公美展 めざめる命うまれる物語』 (学びの杜ののいちカレード/石川県野々市市)
- 2019 方法の発露2019—制作論の再検討 (しいのき迎賓館ギャラリー/金沢市)
- 2021 工芸2021 育成賞 (雪梁舎美術館/新潟市)

Collections

- 金沢美術工芸大学
- リッツカールトン東京
- フォーシーズンズホテル東京大手町
- 伊藤忠ギャラリー・クレヴィア有楽町イトシア

展示作品 工芸家紹介

橋 智哉 氏 (彫刻家)



- 1997 東京藝術大学工芸科鍛金専攻卒業
- 1999 東京藝術大学大学院美術研究科鍛金専攻修了
- 2002 東京、天王洲セントラルタワーにて初個展
- 2004 東京藝術大学非常勤講師(~ 2008)
- 2006 東北芸術工科大学非常勤講師(~ 2007)
- 2014 長岡造形大学非常勤講師 (2016)
- 2017 株式会社スタジオオチバナ設立

主な賞歴

- 1996 藤野賞
- 1997 サロンドプランタン賞
- 1999 スガツネ工房21 学生デザインコンペ銀賞
- 2000 音の彫刻コンクール (静岡県) 特別賞
- 2002 52回モダンアート展(東京) 優秀賞・安田火災美術財団選抜奨励賞
- 2003 53回モダンアート展(東京) 奨励賞・ホルペイン賞受賞
- 2005 Cheongjyu International Craft Biennale 2005 にてSpecial Citation 受賞
- 2008 9th SICF 審査員・浅井隆賞
- 2014 第6回溶接人杯グランプリ受賞
- 2016 かながわ産業ナビ大賞特別賞

中田 博士 氏 (陶芸家 創業100年を超える窯元の3代目)



- 1979 石川県小松市生まれ
- 2005 新鋭美術選抜展 (京都市美術館)
- 2006 京都府美術工芸新鋭選抜展 (京都文化博物館)
- 2010 第1回金沢世界工芸トリエンナーレ(金沢21世紀美術館)
- 2011 現代工芸アートフェア (東京国際フォーラム)
- 2016 第2回菊池寛実賞 工芸の現在展 (菊池寛実記念 智美術館)
- 近代工芸と茶の湯Ⅱ (東京国立近代美術館工芸館)
- 2017 進化する磁器 (茨城県陶芸美術館)
- 2018 うつろいゆく景 (樂翠亭美術館)
- 2022 未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ (パナソニック汐留美術館、他7会場巡回)
- ジャンルレス工芸 (国立工芸館)

主な賞歴

- 2002 朝日陶芸展 入選 (04'06')
- 2009 第56回日本伝統工芸展 新人賞
- 2015 第23回日本陶芸展 特別賞・茨城県陶芸美術館賞
- 2020 第67回日本伝統工芸展 東京都知事賞

Collections

- 東京国立近代美術館 (国立工芸館)
- 茨城県陶芸美術館
- 菊池寛実記念 智美術館
- リッツ・カールトン東京 azure45
- フォーシーズンズ東京大手町 est など

展示作品 工芸家紹介

上前 功夫 氏（ガラス工芸家）



1985 兵庫県生まれ
2008 大阪芸術大学ガラス工芸コース 卒業
2010 大阪芸術大学工芸学科 非常勤副手
2013 大阪芸術大学工芸学科 非常勤嘱託 / 夙川学院高等学校美術科 講師
2016 金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房専門員
2021 大阪成蹊女子高等学校美術科 講師

個展・グループ展等 各地で開催

[受賞/入選]

金沢市工芸展 最優秀賞[2021]
世界工芸都市宣言記念賞[2019]
金沢市工芸協会会長賞[2020/2018]
第59回日本現代工芸美術展 現代工芸賞[2021]
石川の現代工芸展 大賞[2020]
他受賞・入選等多数

Collection

フォーシーズンズホテル大手町（東京）
横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート
フォションホテル京都
JPリゾート伊豆高原（静岡）
リーフィアレジデンス上原（東京）
プライド朝霞台（埼玉）
プライドタワー仙台勾当台通 他多数
フェアフィールド・バイ・マリオット（兵庫）
東急ハーヴェストクラブVIALA鬼怒川溪翠（栃木）



日比谷セントラルビル概要

所在地	東京都港区西新橋1-2-9
竣工年月	1983年6月
規模	地上24階
構造	鉄骨造
延床面積	47,905㎡（14,491坪）
アクセス	都営三田線「内幸町」駅徒歩1分 JR「新橋」駅徒歩7分 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅徒歩5分 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線「霞ヶ関」駅徒歩6分
基準階面積	958㎡（290坪）

お問合せ先

三井物産都市開発株式会社 ビル事業第二部
担当：左近 TEL:03-3503-1221 E-mail:S.Sakon@mitsui.com